

八重山明和天津波研究会主催 第4回講演会

災害の痕跡や記録を 防災・減災に活かすために

2013年1月15日(火)

午後6時開場 **午後6時半開演**
石垣市健康福祉センター2F視聴覚室
e-mail:yaeyamatsunami@gmail.com

【演題と発表者】

- ①仲座栄三(琉球大学工学部教授:学長補佐、
沖縄防災環境学会会長)
「3.11大津波及び明和の大津波の教訓に基づ
く防災対策のあり方」
- ②山田浩世(琉球大学島嶼防災研究センター)
「八重山系家譜から見る明和津波」
- ③山本正昭(沖縄県教育庁文化財課)
「遺跡における地震・津波の痕跡—石垣島東
部の発掘調査成果から—」

入場無料

仲座栄三教授は、琉球大学工学部教授
で、沖縄県地震津波想定検討委員会委員
長などを務めた、沖縄県における防災研
究のスペシャリストである。今回は、仲
座教授を含む、3名の先生方に、島嶼地
域における防災・減災を考える上で重要
な情報を提供していただく。

八重山明和天津波研究会

会長 正木 謙 副会長 島袋 永夫

